

R5第1回地域メディア連携協議会
金沢河川国道事務所にて

この夏の天候と新たな取り組みについて



2023年6月14日
金沢地方気象台

内容

1. この夏の天候について（3か月予報より）
2. 線状降水帯の新しい運用について
3. 洪水キキクルと水害リスクラインの一体化

この夏の天候について

～ 5月23日発表の3か月予報より ～

3か月予報（6～8月）

暖かい空気に覆われやすく、向こう3か月の気温は平年並か高くなる見込みです。
また、降水量はほぼ平年並みの見込みです。

3か月の平均気温・降水量

	平均気温（3か月）	降水量（3か月）
北陸地方	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 低20 並40 高40% 平年並か高い見込み </div>	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> 少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み </div>
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（3か月）</p>	<p>降水量（3か月）</p>

月別の天候と平均気温・降水量

月別では、後半ほど暖かい空気に覆われやすい見込みです。
月別の天候は、どの月も平年と同様の見込みです。

月別の天候

06月	<ul style="list-style-type: none"> 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
07月	<ul style="list-style-type: none"> 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
08月	<ul style="list-style-type: none"> 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 06月	平均気温 07月	平均気温 08月
北陸地方	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	低20 並40 高40% 平年並が高い見込み	低20 並40 高40% 平年並が高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	<p>平均気温 06月</p>	<p>平均気温 07月</p>	<p>平均気温 08月</p>
	降水量 06月	降水量 07月	降水量 08月
北陸地方	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み

3か月（6～8月）の注意点等

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は平年並か高いでしょう。8月に向けて1年の中で最も気温の高い時期を迎えますので、熱中症に対する対策など、健康管理に注意してください。
- ・7月の降水量はほぼ平年並ですが、多くなる確率を40%と見込んでいます。平年並の予想であっても、前線の活動が活発となって大雨となる時期もありますので、最新の気象情報等に留意してください。

線状降水帯の新しい運用について

～ 最大で発生する30分前にお知らせします ～

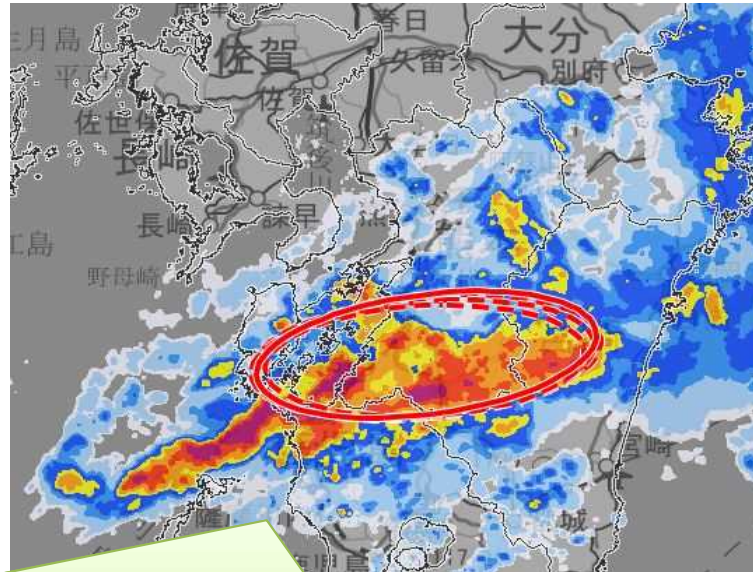
線状降水帯による大雨

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域を「**線状降水帯**」といいます。

ひとたび線状降水帯が発生すれば、災害の発生する**危険度が急激に高まるおそれ**があります。

【気象庁ホームページ
における表示例】

◆「雨雲の動き」



○ 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析）

○ 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分先の解析）

ある時刻（現在時刻）に解析された線状降水帯の雨域を実線の楕円で、**現在時刻から10～30分先に解析された線状降水帯の雨域を破線の楕円で表示。**

※ 楕円が表示されなくなった場合でも、すぐに安全な状況になるというものではないため、引き続き、地元自治体の避難情報や気象台が発表する防災気象情報等に留意が必要。

顕著な大雨に関する気象情報

顕著な大雨に関する気象情報は、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「**線状降水帯**」というキーワードを使って解説する情報です。

【情報の発表例】

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号

令和5年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇气象台発表

(見出し)

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

(本文)

なし

◇線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような線状降水帯による大雨の可能性が高いことが予想された場合に、半日程度前から気象情報において、「線状降水帯」というキーワードを使って呼びかけます※。

この呼びかけは、警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表します。

※地方予報区単位で予想します

洪水キキクルと水害リスクラインの一体化

～ 気象庁HPで一元的に確認できます ～

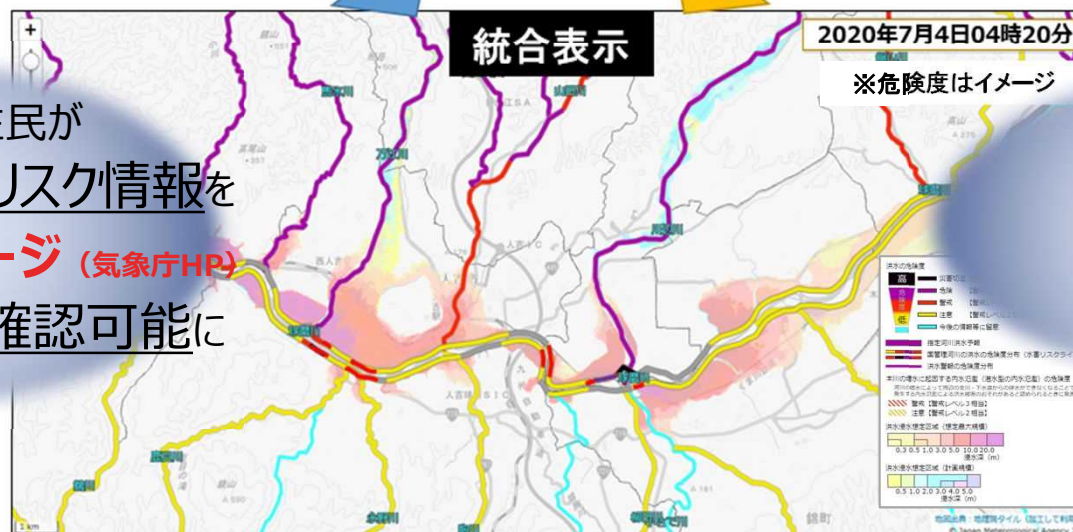
洪水に関する危険度情報の一体的発信

「国管理河川の洪水の危険度分布※」
(水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」
(洪水キキクル)

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民が
それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ (気象庁HP)
でワンストップで確認可能に

令和5年
2月16日
運用開始

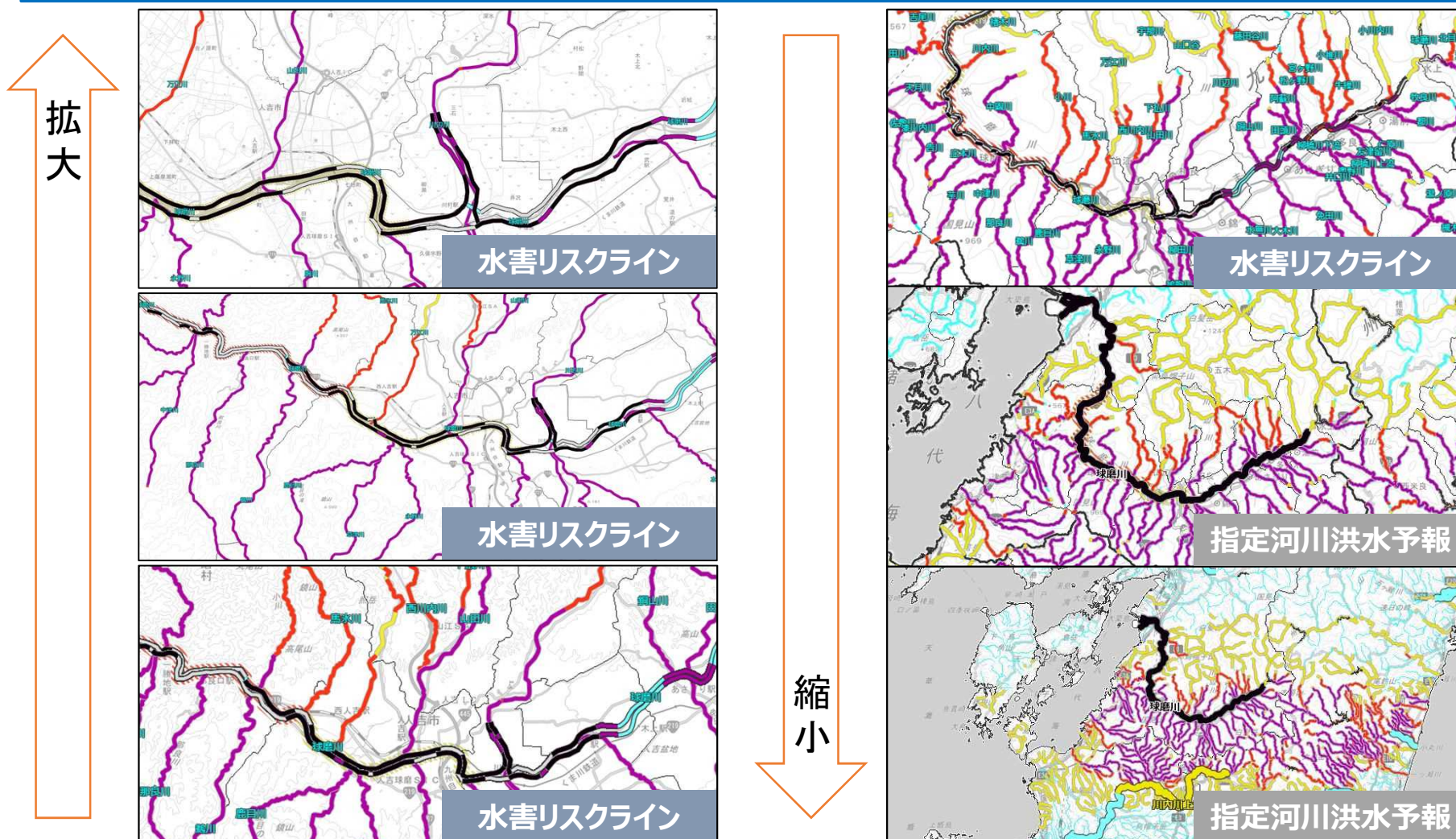
洪水に関する危険度情報の一体的発信

気象庁HPの「洪水キキクル」 表示画面を拡大することにより、詳細な危険度の閲覧が可能。

➤ **拡大時**：「水害リスクライン」の詳細な危険度を表示

➤ **縮小時**：これまで通り「指定河川洪水予報の発表状況」を表示

※ 一定時間以上水害リスクラインが遅延した場合（障害等含む）は、拡大時も「指定河川洪水予報の発表状況」を表示



おわり

・悪天時には、気象台が発表する最新の警報・注意報、防災気象情報等を利用するとともに、「キキクル」を併せて活用してください。

※雨雲の動きと3種類のキキクルを一体表示

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level&area_type=offices&area_code=170000